

国語科学習指導案

1 単元名 自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方を考えよう

～2つの説明的な文章を比較して、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをもつ～

教材名『モアイは語る―地球の未来』（光村図書：国語2）

『流水と私たちの暮らし』（光村図書：国語1）

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

・「C読むこと」：ウ

「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。」

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」：イ(イ)

「抽象的な概念を表す語句について理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。」

②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

・文章の構成や展開、表現の仕方について分析する力

・書き手の目的や意図を考える力

・根拠を明確にして自分の考えをまとめる力

③単元を貫く言語活動の設定と言語活動の特徴

・言語活動例イの「説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。」を基に、本単元では、環境問題をテーマにした2つの説明的な文章を比較し、筆者の題材の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方でも共通している点や筆者独特の工夫点を挙げ、自分の思いが分かりやすく伝わる文章の書き方について、根拠を明確にししながら、自分の考えをもつという、単元を貫く言語活動を設定する。

・2つの説明的な文章を比較することで、文章の書き方の共通している点や筆者独特の工夫点を具体的に整理することができる。また、整理することによって、それぞれの書き方の良さの根拠として挙げる際に役立つこともできる。

・本単元で用いる2つの説明的な文章のうち、『流水と私たちの暮らし』は、1年時に学習している教材である。生徒は小学校の時から様々な説明的な文章を学習しており、今までの学習で習得した知識を活用することによって、筆者の考えが読み手に伝わる文章の書き方について様々なことに気付くことになる。

④教材文の特徴

・2つの文章は、「未来の私たちのために環境を守ろう」という共通テーマをもっている。また、文章の書き方で共通している点としては、「最後に私たちが今しなくてはならないことを述べていること」「序論・本論・結論の三部構成で書かれていること」「読み手に分かりにくいところは図表を用いていること」等が挙げられる。

・それぞれの文章の独特な書き方の工夫点として、『モアイは語る』では、「文明崩壊の過程が順序立てて書かれていること」「最初に問題提起をし、その後に答えを述べていること」「数値が多く使われていること」等、『流水と私たちの暮らし』では、「自然現象をデータを示して説明していること」「比喩が多く使われていること」「段落のはじめに接続語や指示語が多く使われていること」等が挙げられる。

・本単元で用いる2つの教材は、類似のテーマでありながら、いろいろな伝え方があることに気付くことができ、それらを自分の表現に役立てようとする意識にもつなげられると考える。よって、本単元で設定した言語活動を行う上で適した教材と言えるだろう。

⑤今後の学習への活用

・3学期の評論文『君は「最後の晩餐」を知っているか』で、主観的な意見の展開に対して根拠を示して自分の考えをもつ学習。

・3学期の『立場と根拠を明確にして書こう―意見文を書く―』で、自分の立場とそれを支える根拠を明確にして、題材の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しながら意見文を書く学習。

(2) 本単元に関わる生徒の実態及び指導方針

①既習の学習内容

- ・1学期の『印象に残る説明をしようープレゼンテーションをするー』では、プレゼンテーションソフトを使用して、クラスの友人に、自分の興味ある事物について紹介する学習を行った。聞き手が興味をもって聞くことができるように、写真やキーワードの出し方等に工夫してシナリオ作りをした。
- ・2学期の随筆『字のないはがき』では、「感情マップ（「快・不快」「冷静・興奮」の座標軸を基に、感情を表す言葉が100書かれている）」を用いて、感情を表す言葉に着目し、その感情をどのように描写したり、比喩を用いたりしているかを、自分の言葉で説明する学習を行った。

②実態及び指導方針

- ・生徒は様々な場面で、自分の考えを広げたり、深めたりするために、少人数（ペアや3～4人のグループ）での意見交流を繰り返し行っている。本単元の学習でも、少人数による意見交流の場を設け、一人ひとりが活動する場を保障し、意見交流の目的や方法を明確に示すことで、自分の考えを吟味したり、補強したりできるようにする。
- ・「学習カード」を用意し、学習の見通しがつかみやすくする。授業のはじめに本時の課題を示し、本時の学習内容を明確にさせ、授業の最後に本時で学習したことを振り返らせ、本時に学習した内容を確認させるとともに、次時への課題を明確にさせる。
- ・単元の導入で、ワークシート「学習の見通しをもとう」を使って、いくつかのモデル文を簡単に比較させることで、今後の学習の見通しをもたせるようにする。
- ・『流氷と私たちの暮らし』は1年の3学期に学習しているが、大まかな内容の確認が必要である。『モアイは語る』と同様、問題提起と筆者の主張を先に押さえ、具体的な事例については穴埋めをして、大きな枠がつかめるようなワークシートを用意する。
- ・筆者の立場、読み手の対象、訴えるテーマが類似している2つの説明的な文章を用いることで、文章にはいろいろな伝え方があることに気付かせる。
- ・各自で考え、ペア、小グループごと、および学級全体でのシェアを行うことで、生徒一人ひとりが自分の気付きと他者の気付きを比べ、共有できるようにする。
- ・使用する付箋紙については、個、グループ交流、他のグループとの交流ごとに色を変え、自分の考えの広がりや深まりを視覚的に感じられるようにする。
- ・2つの教材文の共通している点や筆者独特の工夫点があり出ず、意見交流が深まらない場合は、全体の活動を一時止め、一斉指導の形で具体例を挙げながら説明する時間を設ける。
- ・まとめの学習で、絵本や詩、小説などを紹介し、環境問題を取り上げている様々なジャンルの作品があることを知らせ、幅広く読書活動を行う意味を実感させたい。
- ・最後にまとめた「自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方」は、今後、文章を書く際に気を付けるポイントになることを意識させるようにする。

3 校内研究との関わり

本校は、研究主題を「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成ー学校全体で取り組む、学力を向上させるための方策ー」として研修を進めている。3年計画の1年目となる。「教育課程の改善・充実」では、「考え、表現させる授業」という共通テーマを掲げ、「進んで考えを伝える生徒の具体的な姿」と、授業作りの基本として、「基本的留意事項（明確な課題設定・考える場の設定）」と「支援のポイント（既習事項の確認・発問の工夫・交流する場の設定・個に応じた支援）」を確認し合った。

本単元では、「自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方を考える」という明確な課題を学習のはじめに掲げ、「2つの文章を比較し、分類する」という考える場を意図的に設定した。また、支援のポイントとして、特に、「交流する場の設定（個・ペア・小グループ・学級全体と学習形態を変える）」「発問の工夫（考える必要性を感じさせる発問を行う）」を支援の重点として、授業を進めていきたいと考える。

4 単元の見込み

2つの説明的な文章を比較しながら、自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方について、自分の考えをもたせる。

5 評価規準及び指導の計画概要 (全7時間予定)

評価規準	国語への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 2つの説明的な文章から、筆者の文章の書き方で共通している点や筆者独特の工夫点を指摘し、自分の思いが分かりやすく伝わる文章の書き方について、自分の考えをまとめようとしている。 		主な学習活動	関	読	言
	読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 2つの説明的な文章から、筆者の題材の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方を比べ、共通している点や筆者独特の工夫点について具体的に指摘している。 自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方について、2つの説明的な文章の書き方を根拠として、自分の考えをまとめている。 					
	言語についての 知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> 文章中の抽象的な概念を表す語句の意味や文章の中で果たしている役割に留意しながら文章を読んでいる。 					
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	関	読	言
		活用させたい知識等	思考力・表現力等				
第1時 ～ 第2時	課題 把握	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味の理解 接続語、指示語 文末表現の知識 文章構成の知識(序論・本論・結論) 説明文における問いと答えの呼応についての知識 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を大まかにつかむ力 文章の構成をつかむ力 事例と意見を読み分ける力 事例と要旨の関係をとらえる力 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ主張でありながら根拠や表現が異なる簡単なモデル文の中で一番主張が伝わる文を選び、その理由を発表する。 『モアイは語る』の内容を結論→序論→本論の順にまとめる。 1年時に学習した『流水と私たちの暮らし』の内容をまとめる。 	○	○	
第3時 ～ 第5時	課題 追究	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分の関係、例示の効果の理解 比喻や反復などの表現の技法の理解 抽象的な概念を表す語句の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の目的や意図を考える力 複数の文章を比較して読む力 文章と図表を関連しながら読む力 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの文章は、筆者の立場や読み手となる対象が共通していることを確認する。 それぞれの文章を読み、筆者の題材の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方等の工夫を付箋紙に書き込む。 		○	○
		<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方について分析する力 自分の考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を基に自分の考えをまとめる力 自分の考えと他の考えを比較して考える力 	<p>【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の書き方について共通している点や筆者独特の工夫点を、前時までに書いた付箋紙を使って分類する。 各自で考えた共通している点や筆者独特の工夫点を、小グループの意見交流で共有し合い、グループシートにまとめる。 		○	
		<ul style="list-style-type: none"> 他の考えを聞き取る力 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を得て、自分の考えを広げ、まとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループを回って各グループのまとめを読み、取り入れ 		○	

			<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にして自分の考えをまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> たい考えや気付いたことをメモする。 自分の考えと同じものや新しく知った考えについて確認し、グループシートを完成する。 			
第6時 ～ 第7時	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 他の学習場面に当てはめること 本単元で学習したことを一般化すること 	<ul style="list-style-type: none"> 考えの共通点や相違点を基に、自分の考えを広げる力 条件に合った文章を書く力 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの文章から筆者のメッセージがより伝わる方を選び、同じ文章を選んだ人同士で意見交流を行う。 選んだ筆者に向けて、筆者の文章の書き方の良さを伝えるメッセージを、条件に合わせて書く。 		○	
			<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を関連付けて考える力 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や詩、小説、写真集などを見て、それぞれの効果的な方法を使って、自然保護を訴えていることを知る。 単元全体を振り返り、観点に沿って学んだことをまとめる。 	○	○	

6 本時の学習 (4/7)

- (1) **ねらい** 意見交流を通して、2つの文章の書き方について比較・分類を行い、話題の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめさせる。
- (2) **準備** 教師：本文シート、ワークシート、意見交流用グループシート、付箋紙
生徒：「学習カード」、教科書、本文シート、ワークシート、付箋紙
- (3) **展開**

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
0 全員で朗読する。 <本時の課題を把握する> 1 2つの文章の書き方について自分の考えをまとめることを知る。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 「学習カード」で既習事項を振り返り、本時のねらいを確認する。 前時にワークシートに記入した内容を、それぞれの文章と照らし合わせながら確認させる。
【学習課題】 自分の思いを分かりやすく伝える文章の書き方を知るために、2つの文章の書き方を比較・分類し、自分の考えをまとめよう。		
<課題を追究する> 2 前時にまとめたそれぞれの文章の書き方について、共通している点や筆者独特の工夫点を確認し合う。 ○前時に書いた付箋紙を確認した後、ペ	15分	【本単元で使う付箋紙について】 <ul style="list-style-type: none"> 縦書きにし、「段落番号、内容（キーワード程度）」を書く。 個～ペア交流は「黄色」、グループ交流は「緑」、他のグループとの交流は「青」の付

ア交流を行い、自分の考えを伝えるとともに、他の考えに触れる。

- 2つの文章の書き方について比較し、共通している点や筆者独特の工夫点を探し、ワークシートに付箋紙を分類する。

両方とも、最後に今私たちがすべきことを述べているから、共通している点に貼ろう！



『モアイは…』は問題提起の文があって答えを述べていて、『流水と…』は段落のはじめに接続語や指示語が使われているな。



- 3 各自で考えた共通している点、筆者独特の工夫点を、小グループの意見交流で共有し合い、グループシートにまとめる。

25分

- 意見交流の仕方、グループシートのまとめ方の手順などを確認する。
- グループで各自が分析した内容について話し合う。

・共通している点として、最後に今私たちがすべきことについて述べていることが挙げられると思います。



・僕も同じだけど、「はじめ・なか・終わり」の構成になっているのも共通していて、終わりで結論を述べているよね。どうかな？



・2つの文章は両方とも図が使われていて、読み手に分かりやすくしていると思います。



・確かに『流水と…』は図と一緒に読むことで内容を分かりやすくしていると思います。でも、『モアイは…』は図よりも写真の方が多く、この場合、読み手に興味をもたせるために使っていると思います。



箋紙を使う。

- ・「説明の仕方やまとめ方、話題の選び方、納得のさせ方」等について着目し、文章の「部分、一文、段落、意味段落、全体」で書く。

- ・ペア交流では、互いのワークシートを見せ合い、自分が挙げていなかった点で納得できるものについては、付箋紙を付け足す。

発問1…2つの文章の書き方を比較して、共通している点と筆者独特の工夫点に分類してみよう！

- ・まずは両者を比較し、似ている記述があるか探すように指示する。
- ・見つけられない生徒に対しては、机間指導を通して、ワークシートの中から2つを選び、両者の関係を考えさせる。

- ・小グループは3～4人のグループとする。

発問2…各自が考えたことについて意見を交流して、文章の書き方の工夫点をたくさん探そう！

【意見交流の仕方】

- ① 順番に分析した内容の【共通している点】を一つずつ発表する。
「(～という理由で、) ○○○という点を挙げました。」
- ② ①と同じ内容があるか確認する。
「私も○○という点を挙げました。」
- ③ ①と反対の意見があるか確認する。
「○○という点で違います。」
- ④ グループで納得した考えをそれぞれの付箋紙を重ねてグループシートに貼る。
- ⑤ ①～④を繰り返し、次に【モアイは語る】【流水と私たちの暮らし】の順に、同じように行く。

- ・できるだけ多くの人の分析が、グループシートに反映されるようにする。
- ・③の際、結論が出ない場合は、グループシートの枠外に貼っておき、次時に解決していく。
- ・意見交流がうまく進まない時は、グループのリーダーを集めて、進め方を確認する。また、学級全体に、具体例を挙げて、他の材料を引き出

・確かにそうだね。それじゃ、共通している点ではなくて、筆者独特の工夫点のところにそれぞれ貼ろうか？それとも…？



させるようにする。

【読】意見交流を通して、2つの文章の書き方を共通している点と筆者独特の工夫点に分類することで、題材の選び方、文章の構成や展開、表現の仕方等、よりよい文章の書き方について、自分の考えを広げている。(グループシート)

＜本時のまとめをする＞

4 本時の学習を振り返る。

○本時の学習を通して分かったこと、気付いたことをワークシートに書き、発表する。

＜生徒の意識＞

意見交流をしたら、考えていた以上に、たくさんの方の書き方のポイントが出てきた。自分が文章を書く時、こういったことを意識していけば、今までよりも相手に伝わる文章が書けそうだな。次回、他のグループのを見て、もっとポイントを増やしていこう！



5分

- ・小グループから学級全体の学習形態に机を戻す。
- ・「学習カード」で、本時のねらいと学習内容を確認し、文章のより良い書き方という視点で本時の学習を振り返らせる。
- ・挙手による発言がなければ、参考にしてほしい内容をワークシートに書いている生徒を指名して、発表させる。
- ・次時は、他のグループを回ってまとめを読み、自分の考えと同じものや新しく知った考えについて確認し、ワークシートにまとめることを伝える。